

11月9日は119番の日

救急車の適切な利用のお願い

救急車は限りある医療資源です。

全国的に救急件数は増加しており、本当に必要な人に救急車が迅速に出動できないことがあります。

119番通報を受けると、要請場所から一番近い救急車が出動しますが、近くの救急車が出動している場合は、遠方にある別の救急車が出動することになるため、到着に時間を要してしまい、救える命が救えなくなる場合がありますので、救急車の適正な利用をお願いします。

ただし、次のような症状がある場合は
迷わず救急車を呼びましょう。

- ・言葉が出にくい。突然片方の手足に力が入らない。
- ・胸が締め付けられるように痛い。
- ・頭が割れるような痛み。経験したことがない痛み。
- ・息苦しい。息がしにくい。
- ・意識がない。けいれんを起こしている。



広報

119



編集・発行
福島消防署
福島市天神町14-25
TEL 534-9105
FAX 535-0120

住宅用火災警報器なんでも相談窓口

- ・購入先、取り付け部分などのご相談
- ・住宅用火災警報器の取り付け支援
- ・住宅用火災警報器出前講座の実施

福島消防署	TEL 534-9105
清水分署	TEL 557-5415
西出張所	TEL 591-4628

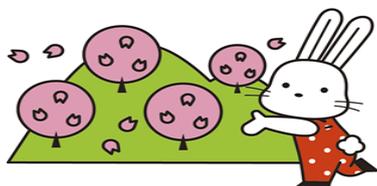


お近くの消防署に相談窓口を開設しておりますので
お気軽にご相談ください!!

「林野火災を防ごう！」

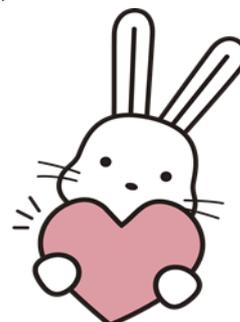
秋は枯草が増え、燃えやすい季節となります。次第に空気も乾燥し秋風によって火災が延焼拡大する危険性が高まります。山菜取りや、秋の紅葉シーズンで山への出入りも増えることから、十分に注意しましょう。

「山火事を
防ぐあなたの
心がけ」



二〇二二年度 全国統一防火標語

「お出かけは
マスク戸締り
火の用心」



住宅火災から大切な命を守ろう



令和3年に発生している火災の中でも、住宅火災は約5割を占めています。住宅火災の主な出火原因は、「たばこ、ストーブ、こんろ」です。火災から大切な命と住まいを守るために、日頃からしっかりと備えましょう。

住宅火災の主な出火原因

たばこによる火災

- ・寝たばこは絶対にしない。
- ・吸殻を灰皿にためない。
- ・吸殻は水で完全に消してから捨てる。
- ・火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する。

ストーブによる火災

- ・周囲に燃えやすいものを置かない。
- ・外出時や就寝時は必ず火を消す。
- ・給油は必ず火を消してから行う。
- ・ストーブの近くで洗濯物を乾かさない。

こんろによる火災

- ・調理中に離れない。
- ・周囲に燃えやすいものを置かない。
- ・防災製のエプロンやアームカバーを使用する。
- ・火が鍋底からはみ出さないよう調節する。
- ・安全装置(SIセンサー)付きこんろを使用する。



ご家庭に消火器を備えましょう。

いざという時に備えて、消火器の適切な使い方を身につけましょう。

- ・消火器による初期消火は、火災の被害の抑制に非常に効果的です。火を使う場所には、消火器を備えましょう。
- ・消火器には、共同住宅等で設置が義務付けられている消火器の他、一般住宅向けの小型で軽量の住宅用消火器や、片手で簡単に使用できるエアゾール式簡易消火具があります。
- ・いざという時に備えて、地域の防災訓練や消防署のイベントに参加して消火器の適切な使い方を身につけましょう。



△ ご注意

※消火器には使用期限が定められています。
※消防職員が住宅用防災機器を販売することはありません。悪質な訪問販売等にご注意ください。

消防本部ではホームページを開設しています。
消防情報・救命処置・緊急休日診療当番医など豊富な情報が盛りだくさんです。
ぜひ、アクセスしてみてください。
福島市消防本部ホームページ

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/syoubou-top/shobo/shobohonbu/index.html>

